

今回のキャリア開発演習Ⅱは狩野が担当し、『東京都・特別区Ⅰ類 教養・専門試験過去問 500 [2022 年度版]』から日本史の過去問を 3 問扱いました。

授業冒頭、中島恒雄総長先生と FD 専門部会長の生沼礼一先生から、受講生に対して授業見学の趣旨について説明がありました。授業見学は本学の授業をさらに向上させるために行うものであり、学生諸君もこの趣旨を理解して協力してほしいと総長先生は直接学生に呼びかけていらっしゃいました。本学は皆さんの学びを全面的にサポートするという総長先生のお言葉は学生たちの心に届いたと思います。

さて、この授業では、「江戸時代初期の幕府の統治」「織豊政権」「大正～昭和初期の出来事」の 3 問について、選択肢の正誤を確認しながら進めていきました。そして正しい知識のうち、とくに重要な箇所には学生に下線させ、暗記してもらいました。暗記はまず選択肢ごとに、次に設問ごとに、最後は扱った 3 問通じてというように、暗記する時間を繰り返し設けました。この暗記の時間に関連して、3 分や 10 分などのように経過時間が学生に分かりづらい場合、教員が「あと何分」とアナウンスすると良い、と具体的な助言をいただきました。

確認テストでは 8 名が満点でしたが、1 問不正解の学生も 1 名おりました。これに関しては 1 問にかける時間がやや少なかったかもしれないと反省いたしました。そして授業終了前、総長先生は学生たちの努力をねぎらいつつ、復習を怠らないよう励ましておられました。

最後になりましたが、ご多忙にもかかわらず、教員の指導力向上と学生の教育のために貴重なお時間を割いてくださる中島恒雄総長先生に御礼申し上げます。